



REPUBLIC OF ESTONIA  
MINISTRY OF ECONOMIC AFFAIRS  
AND COMMUNICATIONS



トヨタ自動車株式会社代表取締役会長

豊田章男 様

2024 年 8 月 2 日

豊田章男 様

**2025 年 4 月 24 日(木) 開催「ウレミステ・シティ・フューチャー・フォーラム 2025」へのご招待**

ビジネスの成長とイノベーションをテーマとした「ウレミステ・シティ・フューチャー・フォーラム 2025」へ豊田様にキーノートスピーカーとしてのご講演を賜りたく、お手紙を差し上げました。

ウレミステ・スマートシティ (<https://www.ulemistecity.ee/en/about/>) は、エストニアの首都・タリンにあるビジネス地区です。こちらの地区では、世界中から 500 近くの数に上る企業が所在し、およそ 17,000 人以上の人々が働いております。エストニアの首都タリン・第二の首都タルトゥに続く、第 3 の経済都市に成長いたしました。

エストニアという国は、小国でありながらも、柔軟で多様性に富んだ経済を持ち、継続的にデジタル化と情報化社会の発展に力を入れております。そのため独自で培った経済的基盤と外国からの投資に加え、環境やグリーンテクノロジーに注力する数多くのイノベティブなテクノロジー企業や新しいスタートアップ企業が誕生しております。そのような企業の多くが、ウレミステ・スマートシティに所在しているのです（例：Skeleton, Stargate Hydroge, 等）。

欧州最優秀教育基金（European Best Education Foundation）によって構築された強固な経済エコシステムのおかげで、エストニアは、人口当たりのスタートアップ企業数、ユニコーン企業数で、欧州 1 位です。このようなエストニアの優れたスタートアップの環境は、100 万人当たり 400 社を超える資金調達済みのスタートアップ企業の密度の高

さによっても、さらに強調されています。エストニア発のユニコーン企業である Skype（スカイプ）、Playtech（プレイテック）、Bolt（ボルト）、Wise（ワイズ）、Pipedrive（パイプドライブ）、Zego（ゼゴ）、ID.me、Veriff（ヴェリフ）、そして Gelato（ジェラート）は、このような優れたエストニアのスタートアップ環境から誕生した輝かしい成功事例です。

また、エストニアの電子住民制度（<https://www.e-resident.gov.ee/>）は、ビジネスにおける活動の多くを簡略化する事から、様々な国際的なビジネスのやり取りの場として、魅力ある環境となります。エストニアという国は、新しいスマート・ソリューションの創造とテストを行うに最適な場所でもあり、タリンとウレミステ・スマートシティでサービステストする機会を掴む多国籍企業の数もますます増えております。

エストニアの発展に関する情報を把握する事、そして、この国において様々な場所での協力の機会を探すことには、大きな価値があると、私たちは信じております。イノベーションは、私たちの社会において、普遍的価値のひとつです。私たちは、同じような考えを持つパートナーを探しており、今回この招待状を出させて頂く運びとなりました。

#### 「ウレミステ・シティ・フューチャー・フォーラム (Ülemiste City Future Forum)」概要：

- ウレミステ・シティ・フューチャー・フォーラムは、2年に1度開催される、未来のトレンドに注目した国際ビジネス会議です。2023年には、世界から400人以上の講演者や参加者が参加いたしました。
- ウレミステ・シティ・フューチャー・フォーラムは、卓越したアイデアや才能、企業、大学生、高等教育機関を一堂に会する事により、より革新的で競争力のある人材環境を促進いたします。
- ウレミステ市内でも、1年で最もインスピレーションを湧き起こすようなハイライトであると、見なされております。
- 経済コミュニケーション省、タリン市、エストニアビジネスイノベーション庁、タルトゥサイエンスパークなどが協力パートナーです。

このフォーラムでは、ビジネスの成長に焦点を当てます：

- 戦略的概要：革新的ビジネスモデルが向かう先や、新たなビジネスチャンスが解決する本質的な問題などに関して。
- 事業開発：市場が期待している新製品やサービスと、それらを開発出来るスピードや、それらに対する事業開発の進展の必要性の有無などに関して。
- 地域社会と環境の重要性：協力するための適切なパートナーの見つけ方や、成長に意欲的な環境が人々の習慣やビジネスの業績にどのような影響を与えるのかなどに関して。

今回、このように協力関係を結ぶ事が出来た際には、ぜひ沢山の事を学ばせて頂き、更には、その協力関係から、更なるコラボレーションの機会を、ウレミステ・スマートシティを通して創出できればと考えております。

また、ご訪問中にご希望される会合があれば、喜んで手配させていただきます。

ぜひ前向きなお返事を頂けると幸いです。

連名

Mainor 株式会社/ ウレミステシティ

常務取締役会長

Kadi Pärnits

タリン市 副市長

Margot Roose



経済コミュニケーション省

経済産業大臣

Erkki Keldo